○主たる周知方法

1. 販売時の説明
2. 車両貼付シール（リサイクルマーク）
3. 取扱説明書にて記載
4. 製品カタログに掲載
5. 年次報告での紹介
6. パンフレット配布
7. エコプロダクツ等のイベントでのPR
8. 雑誌広告、パブリシティ活動等、メディアを活用したPR
9. 各事業者、JARCホームページでのPR
10. 自治体への広報活動　⇒　地域住民への案内

○イベントでの広報活動

イベント名	月日	会場	パンフレット配布数
コアユーザーを対象としたイベント			
①WERIDE三宅島モーターサイクルフェスティバル	6/6	江東区・お台場	1,000部
②サマーツーリングinキロロ	6/12-13	北海道・キロロ	250部
③バイクのふるさと浜松	8/21-22	浜松市・総合産業展示館	2,300部
④TOHOKU夢ツーリングin安比	9/4-5	岩手県・安比高原	428部
⑤モトパラダイス関東	9/11-12	新潟県・上越国際スキー場	3,000部
⑥二輪車安全運転推進運動	9/11-30	全国53会場	25,000部
主に一般ユーザーを対象としたイベント			
エコプロダクツ東京	12/9-11	江東区・東京ビッグサイト	2,000部
計7イベント		パンフレット配布　計	33,978部

バイクのふるさと浜松

○自治体向け説明会

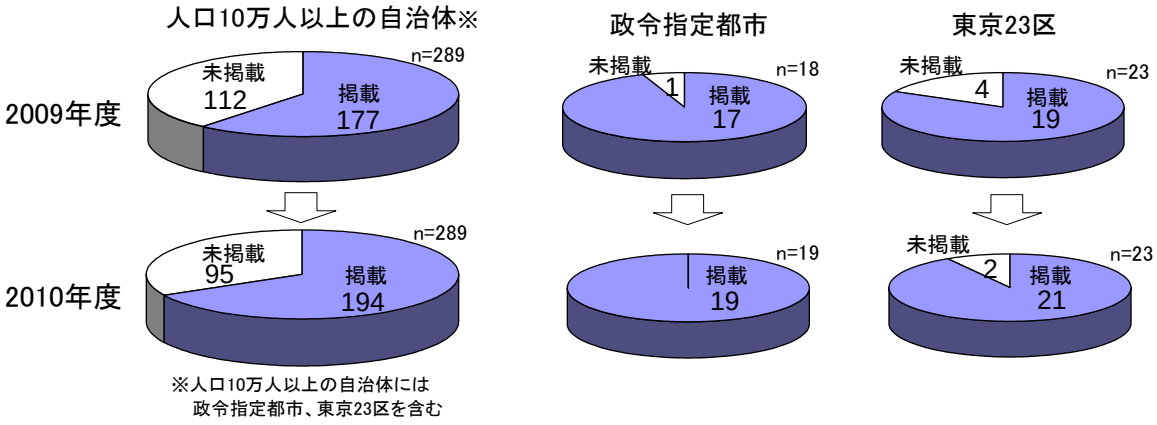
説明ポイント
1. 二輪車リサイクルシステムとは（対象機種・引取基準）
2. ユーザーが排出するケース（廃棄時無料引取に伴う変化点）
3. 自治体が、路上放置車両等を回収し処理するケース（廃棄時無料引取に伴う変化点・事前申請手続）
4. 自治体の皆様にお願いしたいこと（住民への周知・担当部署のメールアドレス登録）

開催実績

月日	地域	会場	参加数	
			自治体等数	人数
6/28	東北	盛岡	23	34
7/1	北海道	札幌	30	38
7/5	中部	名古屋	71	90
8/26	中・四国	岡山	36	59
9/6	近畿	大阪	88	149
9/13	関東	東京	104	161
10/1	甲信越	柏崎	14	20
10/13	九州	小倉	30	38
計			396	589

○二輪車リサイクルシステムを住民に案内している自治体

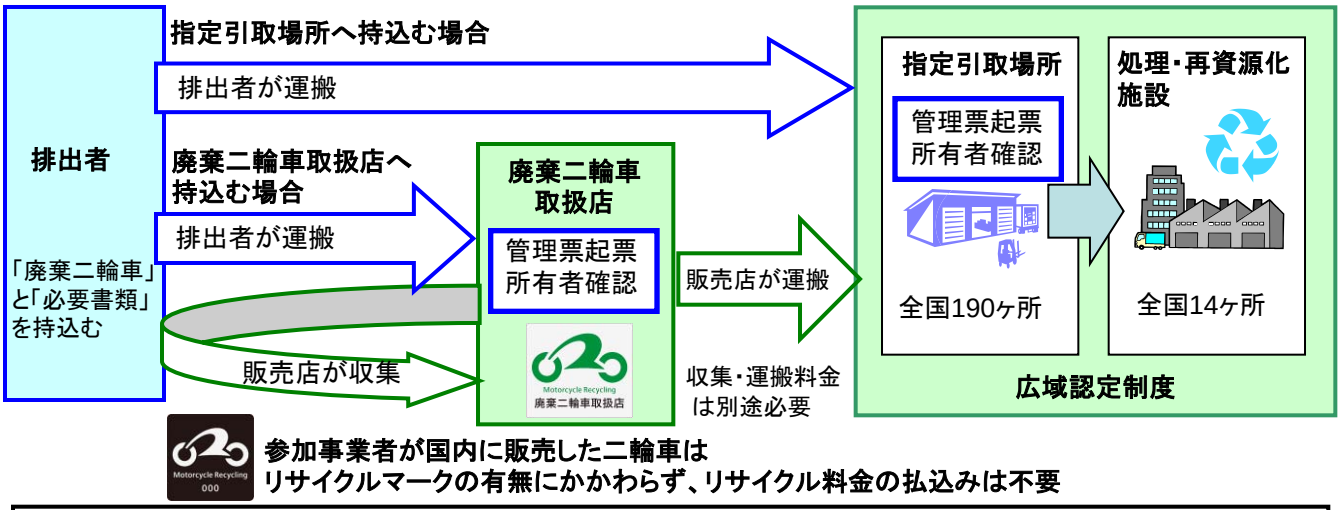
2010年3月及び2011年3月に全自治体を対象に住民広報媒体による二輪車リサイクルシステムの紹介状況を調査した。
2011年3月の掲載自治体数は全体で372、うち人口10万人以上の自治体では194。政令指定都市では19全数。東京23区では21となった。



※人口10万人以上の自治体には
政令指定都市、東京23区を含む

「2011年廃棄時無料引取」の概要

○「2011年廃棄時無料引取」フロー



Motorcycle Recycling 000

参加事業者が国内に販売した二輪車は
リサイクルマークの有無にかかわらず、リサイクル料金の払込みは不要

「排出者」とは、廃棄を希望する二輪車の所有者又は、所有者より廃棄及び処理再資源化に関する一切の権限を付与された者。

「廃棄二輪車」とは、所有者が廃棄を決め、廃車手続きが完了した二輪車。

「必要書類」とは、廃車手続きが完了していることを証明する書類及び排出者の身分証明書。

○新パンフレット

表紙

裏面

お問合せは
二輪車リサイクルコールセンター
TEL:03-3598-8075

詳しくは
公益財団法人
自動車リサイクル促進センター
http://www.jarc.or.jp/motorcycle/

○JARCウェブサイト

二輪車リサイクル画面

廃棄時無料引取のフローを掲載